

創刊号
 昭和55年11月25日発行
 柳浜コミュニティセンター
 運営協議会広報部
 ☎ 25-2002

「コミュニティくはま」の発刊によせて

柳浜コミュニティセンター運営協議会
 会長代行 石丸 勝

「コミュニティくはま」の第一号を発刊する事に存りました。主眼はコミュニティセンターが建設され去る九月十四日オープンしました。さてこのセンターは地区の皆さんに、誰がも何時でも気軽につかっていただける、そうしてこのセンターが地区民のふれあいの場となり、よりよい柳浜地区をつくるべく拠点にしていただくよう、皆さんに理解と協力を依頼するたぬにこの会報が役立つことを期待しております。

コミュニティという言葉本来には、またあまり親しみのもたない方もあろうかと思ひますが、コミュニティとは一定の地域に住む人びとがお互いに協力し合い助け合つて快適で豊かな住みよい社会をつくることとすうすうとするための場、あるいは状態だといわれ、徳山市では、これをまとめつて「住みよい地域社会」と表現しております。従つてこの柳浜コミュニティセンターおよび児童館は、その拠点だと思ひます。いや絶対にその拠点としなければなりません。そのためには一人ひとりが、この方々に使つていただく、知っていただくなければなりません。広報部の方はこの会報を通じて広く皆さんに呼びかけ、又地域のニュースを今後三号、三号の発刊には盛沢山に載せていきたいと、はりきつと取り組めますが、地域の皆さん方、広報部会の一員になつて、つくり、意見を求め、要望をとり、作文、コメント、俳句、和歌、何んぞ結構。どしどし投稿してくださいと、おねがひをねがひます。

最後に誕生したばかりの「コミュニティくはま」が、地域の皆さんの協力支援を得て、主筆を成長して、くんとを願ひます。すばらしい地域社会づくりには、没交渉とご念願してやみません。

題字をお書き下さった浅田議長長さん、それにこの発刊に、ご尽力いただいた広報部の皆さんに、心から謝意を表します。

式辞

徳山市長 小川 亮

本日ここに、来賓各位多数のご臨席のもとに、徳山市横浜コミュニティセンター及び横浜児童館の竣工式を挙行いたしますことは、まことによるごびにたえないところであります。

いうまでもなく、コミュニティの本質は、地域社会で、自分たちの住むところは自分たちで協力して自主的に築きあげるという自治性を基本とするものであり、本市におきましては、これを住みよい地域社会の創造としてとらえ、市政の重点施策の一つとして、地域の特性を生かした自主と連帯に支えられたコミュニティづくりを推進していることは皆様よくご承知のとおりであります。

この施設は、コミュニティづくりを進めるための、各種の会議や学習活動、また趣味やレクリエーションを楽しむ場として活用していただき、明るく豊かで住みよい地域づくり役に役立てていただく

祝辞

徳山市議会議長

浅田道雄

秋晴れのよき日、ここに横浜地区コミュニティセンターの竣工式が盛大に挙行されるにあたり、市議会を代表して一言お祝いを申し上げる機会を得ましたことは私のこの上ない光栄といいたすところであります。

ご承知のように本市では、心のふれあう明るく住みよいまちづくりをめざして、行政と住民が一体となつてその推進をはかってまいっておりますが、当横浜地区においてはいち早く各種団体が中心となつてその実現をめざして活動を強力に推進しておられますことはご同慶の至りであります。

このたび石油貯蔵施設立地対策等交付金を利用して全国でもまれな地区コミュニティセンターが、市当局並びに関係各位の深いご理解と多大なるご協力により、このように立派に竣工をいたしましたことは皆さまともども喜びにたえません。本センターは、今後地区

めに建設したものです。

施設的设计に当たりましては、当地区の皆様がたのご意見やご要望等を十分に考慮し、可能な限りの諸設備を整えることに努力したつもりであります。

今後この施設は、当地区住民のかたがたで組織されました。横浜コミュニティセンター運営協議会によって運営されますが、児童からお年寄りまで気軽に利用できる多目的施設として、多くのかたがたに利用されることが予想されます。

つきましては、ご列席の各位におかれましては、コミュニティづくりの趣旨について深いご理解をいただき、立派な運営が行われますようご協力をお願い申し上げます。終りに遠路ご来臨くださいました来賓各位に対し、また工事関係者のかたがたのご尽力に対し、厚くお礼申し上げます。

の皆さまがたが管理、運営のすべてを受託されるのであります。地区の皆さまが一人でも多く、それぞれ各種、各様に十分ご活用をいただきまして、地区民相互の心のふれあいをさらに深められ、明るく健康で、豊かな住みよいまちづくりの推進に地区民全員がご参加くださるようお願い申し上げます。

また併設されました児童館においてもその運営よろしきを得まして、親と子の福祉の向上に大きく寄与いただけるものと期待いたしております。

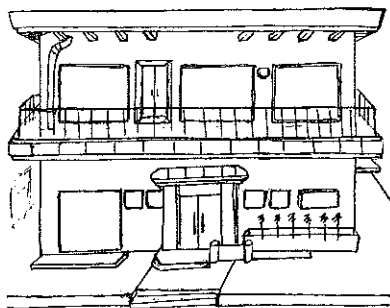
終りに横浜地区の益々の発展と皆さまがたのかぎりないご健勝を心からお祈り申し上げます。まことに粗辞ではありますがお祝いのことばといたします。



竣工式及びオープン行事 9月14日

木枯や手で塗りつぶす窯の口

三宅湖鳴



活動とふれあいの広場

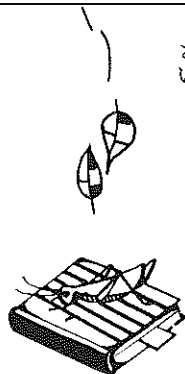
コミュニティセンターは、地域の皆さんが身近ないろいろな問題について話しあったり、学習したりする広場です。住みよい地域社会づくりの為に、気軽につかってください。

△開館時間 九時から夜十時まで
△休館日 月曜 年末年始
(月曜が休日の時は火曜)

△部屋を使用したいときは、団体やグループの責任者が、使用許可申請書によって申し込んでください。

使用の承認は先着順です。使用したい日の二ヶ月前から受け付けます。

使用料は無料ですが、コミュニティづくり以外の目的で使用する時は市条例で定められた使用料を支払っていただきます。個人でおつかいになりたい時は受付で記載して入室してください。



ありがとうございます
備品寄附者ご芳名

- 日本画(軸装)二幅 藤井梅治殿
- 日本画(軸装)二幅 不破本正雄殿
- 日本画(軸装)二幅 榑浜婦人会殿
- 洋画(額装)一点 村井周作殿
- 洋画(額装)一点 石丸 勝殿
- 時計 二個 野村昌利殿
- 中国画(額装)一点 小林米雄殿

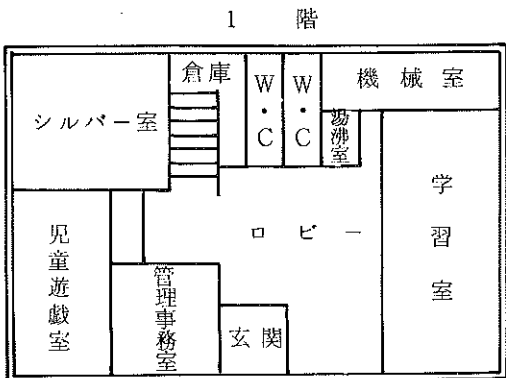
センター利用状況(9月16日~10月31日)

室名	利用回数	利用人員
シルバー室	7	240
大集会室	9	575
会議室	6	95
和室	4	27
調理実習室	2	39
児童室・学習室	5	106
計	33	1,082

他に個人利用者 201

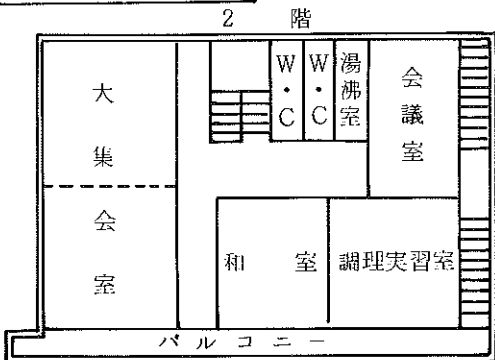
施設のごあんない

- 一階
 - ロビー(九三・三m²)
情報交換や休けい談話の広場
 - シルバー室(六八・七五m²)
お年寄りの方の為の和室。碁や将棋あんま器もあります。
 - 児童室(七三・五m²)
児童のための広場。とび箱やマットもあります。
 - 学習室(七四・七五m²)
児童のための学習室。もっと図書をあつめて児童図書室にやがては地区の図書館に。
 - 管理室(三五・五m²)
センターの運営やコミュニティづくりについて意見や要望をおよせください。



二階

- 大集会室(一七二・七m²)
多人数の集会・講演・映画・パーティーなどに。
- 会議室(四五・五m²)
中小規模の集會に
- 和室(五三・六五m²)
中小規模の集會。茶華道などのサークル活動に。
- 調理実習室(六五・六三m²)
料理講習会や調理実習に。主婦のための広場です。



コミュニティ・センターの開館について

地区住民や自治会、社会教育、福祉活動、婦人会活動に、明るく住みよい地域づくりに役立てるためにできたセンターです。

私達の自治会も一度はコミュニティ・センターを利用したいと思っております。

竣工式時には婦人会と母親クラブで、二百人の料理を作りました。十月七日には班長、旧支部長、支部長、婦人会役員、百二十名でふれあいをしました。楽しくなごやかな内に時間が過ぎ去りました。設備のよい調理室を利用して、今後の地域のふれあいのため、活用したらよいのではないかと思っております。

榑浜婦人会

社会部々長 野村 幸子



推進母体 運営協議会

コミュニティセンターは、徳山市の建造物であります。市が直接管理運営をするのではなく、市から委託を受けた団体が、その責任において管理運営にあたるといふ性格をもった施設であります。

そこで、この施設の管理運営の受託団体として、またこの施設が設置された趣旨、すなわち、横浜地区の望ましい地域社会づくりの拠点となりうるような管理運営を考え実践する団体として、去る八月三十一日、設立総会を開き、会則の決定、役員を選出、本年度の事業計画並びに予算を決定し、横浜コミュニティセンター運営協議会として発足いたしました。

ところで、この会は、地区のコミュニティづくりの替り年額一〇千円以上の会費を納入した者、並びに地区内の各種団体機関の代表者で組織することになっております。現在までにご加入いただいた会員の方々は個人会員一九三、法人等団体会員一五であります。

できるだけ自発的に会員になっていただくとういう心くばりと、情報提供の不足もありません。地区の皆さんでご存知なかった方も多いことと存じます。おゆるしく下さい。設立総会で決定した会則などご希望の方はお申出ください。そうしてできるだけ沢山の方が趣旨をご理解いただき会員におなりください。望ましいコミュニティづくりの手に携えて進んでまいりたいと思っております。

“ただいま”

の声が集まる児童館

兼重マス子



待望の横浜児童館の竣工おめでとうございます。

児童館それは一口に言って「あしたに生きる子ども達の城」とでも申せましょう。

「児童の健全育成」すべての子ども達を健やかに、心美しくしあわせにするために、大きく役立つことを念願いたしております。

児童館は、年金積立金還元融資によって建設された施設でございます。館内には学習室(七四・七五㎡)図書もそろえてあり出しもいたしております。

遊戯室(七三・五㎡)とび箱や、マットなどもあり自由に遊べる広場で軽い運動も出来る二つの室があります。

現在、一年生八名、二年生九名、三年生六名、計二十三名の在籍となっております。定員にはまだ間がございますので申込みをお待ちいたしております。

管理運営につきましては、徳山市社会福祉協議会が行っております。職員は非常勤の館長と、職員(有資格)二名で児童の安全育成の職務に頑張っております。子どもの心身ともに健やかな成長

を願うことは、いつの時代にも共通することですが、今、複雑多様化する社会環境の中で、子ども達が放課後の生活に最低欠かすことのできないことを土台に、さまざまな活動を計画いたしております。

なお、五十五年度の国庫補助金をもとに横浜児童館を拠点として、会員五十三名の加入を頂いて横浜母親クラブを発足いたしました。会長には井手智子さん、会計に林千代さんで運営にあたっておられます。

- ① 昭和五十五年度の学習内容は、家庭教育に関する研修活動
- ア 家庭のしつけ、健全育成に関する研修
- イ 家庭の平和、夫婦の円満

- ② 児童の事故防止のための奉仕活動
- ア 遊び場の遊具その他の点検
- イ 交通安全点検活動
- ③ その他の活動
- ア 母子の交流活動
- イ 母親の教養活動

ウ 三世代との交流会 など講師を招いて学習会を開催いたしております。

児童館は、子ども会と車の両輪のごとく密接な関係をもって職員共々頑張る所存でございます。今後共皆様方のご支援をいただき「たくましい子育て」に、邁進したいと思っております。



編集後記

白菊の香り高い今日此頃、関係各位の温かい御指導、御支援に依り、コミュニティ便り「くしがはま」を発刊し、こうして皆様方のお手許にお届けできますことを嬉しく思っております。また、その際、快く御寄稿下さいました各界の皆様方に、紙面に厚く御礼申し上げます。

この広報は、コミュニティセンターと皆様とのふれあいをさらに深めるためのかけ橋です。地域に密着した親しみのある内容にするため、広く皆様方の御意見、御投稿(俳句を含む)を戴き、意義あるものこそしたいと思っております。

横浜コミュニティセンター運営協議会役員

(昭和55年8月31日 五十音順)

顧問	浅田道雄	藤井真	大和清	
副会長	石丸勝	石丸勝(体育振興会)	兼重マス子(婦人会)	
所長	村井栄治			
理事	磯崎英一(民生委協)	磯村忠(東本町3)		
	稲田寿雄(青年団)	木村亘(太華中)		
	門脇俊宣(横浜小)	小嶋利夫(横浜支所)		
	清水悦子(華西大踏)	田中正(九十九会)		
	中村政市(栗南2)	野村栄(長寿会)		
	濱田隆一(子ども連合会)	藤田良實(横浜小P)		
	村井栄治(西本町)	義永勝(公民館)		
	松田静子(栗南3)	本居啓(峠)		
	専門部	(○印部長)		
	広報部	野村昌利(中町)	井手智子(元町)	
企画部	濱田隆一(東浦町)	松田静子(栗南3)		
	浅田育雄(東浦町)	浅田和彦(東本町2)		
	兼重マス子(栗南1)	清水悦子(華西大踏)		
	温品富江(浴)	義永勝(東本町1)		